

ひだご坊

No.299

2014年6月20日

発行 真宗大谷派 高山教務所
発行者 大町慶華
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
☎(0577)32-0776
*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社

念じられ 照らされて

ご坊大火の記憶

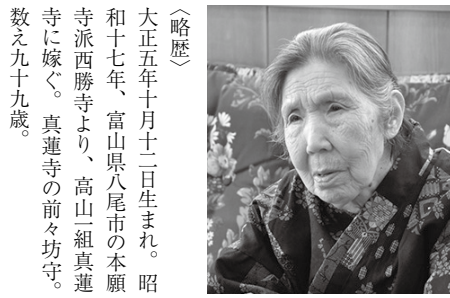
三島利子(談)

昭和二十二年四月二十二日夜半、別院境内の高山幼稚園より出火。別院の本堂はじめ、庫裡・食堂・大門・鐘楼のごとく灰燼に帰し、寺中のうち、真蓮寺・専念寺を全焼、了泉寺を半焼し、鉄砲町・寺内町四十世帯が焼け出されたという大火の記憶である。



火事とき

今までの人生の中で一番悲しかったことは、ご坊さま、そして真蓮寺が燃えてしまったことかなあ。あれは、昭和二十二



〔略歴〕
大正五年十月十一日生まれ。昭和十七年、富山県八尾市の本願寺派西勝寺より、高山一組真蓮寺に嫁ぐ。真蓮寺の前々坊主。数え九十九歳。

年の四月二十二日やったと思う。「別院火事や」といって、みんな飛んでござった。自分とこの寺が焼けること知らんし、うちの住職は別院行つて、一生懸命手伝いしてござった。「ご院主さま、あんたんとも火がついとる」と言われて、戻つたときにはもうすでに遅かつたな。火元は、専念寺の裏手にあつた高山幼稚園のお内仏の蠟燭の火やということやった。

山門に飛び火したら、簡単に真蓮寺に燃え移つたさ。その時に、「あー、バケツに一杯の水あれば、あの火消せるんじやが。水はないかー、水はないかー」と言うようござるうちに、バツと燃えてしまった。後で聞いたら、火消しの自動車ポンプが4台も5台もあつたんや。うちでは、家財道具を寺の裏の崖下の勝久寺畑(現いちのまちパーキング)にばかり込んだんじや。燃えつつある寺に居つたのは、わし一人よ。親戚は、息子(3歳)を

連れて逃げていつて住職は別院よ。わし一人で、そのとき、大勢の人が来てくれたさ。門徒の人やら、他人様やら、火事場泥棒やら、そんなこと全然分からすと、来る人に「お願いします、お願いします」といつて、物もたせたんや。

とにかく仏さまを救うにやと思ふけど、わし一人では何もできんし、その時に、門徒さんが「仏さま、仏さま」といつて、内陣から上手に痛まかさんように下ろして預かつてくださった。そして、「奥様、俺に過去帳いこせ」といつて、大風呂敷に包んで持ち出してくれた門徒さんもおつた。

あとと過去帳は燃やすなよ、と言つて来てくれた。有難かつたさ。あとは、気が楽になつて、野となれ山となれで、燃えるだけ燃えれと思つたな。

出火の時に、四月なの雪が降つた。この雪がなかったら、高山中飛び火して大火事になるとこやつたと盛んに言ひよつたなあ。あの雪のお陰で高山中が救われたと。ほんとに、別院が燃え



【焼失前の高山別院本堂】

たのには、みんな「もつたいない、もつたいない」といつて悲しがつたさ。
ご坊さま再建
総代さんたちが、募財集めに苦労してくださつた。住職は、真蓮寺のことは後回しで、輪番と一緒に、飛驒を出られた門徒さんを訪ねて別院再建のための募財を頼みに、全国を走り回つた。

も寄付せんらんしといふことで、ぼやしなうでも精一杯にしてくれたんじやないやろか。仏さまのちから、泣きながらでも嫌々でも、仏さまのこつちやという思いやつたんやな。がんばらばつたんでないかい。

さなひめ
佐奈姫忌法要
墓前で法要を営み、
聞法の座をもちます。

日時：6月26日(木)午後1時30分から
会場：佐奈姫墓所・松本町公民館
法話：大町慶華 輪番

※別院から送迎があります。現地には駐車場がありませんので、参拝される方は午後1時までには別院事務所に集合ください。

飛驒の真宗

伝承散歩⑥ さな姫さま

一六一五年、照蓮寺十四世宣了は金森家より側室を迎え、やがて娘のおなけが誕生しました。その後、照蓮寺は金森重頼の第三子・従純(のちの十五世宣心)を後継ぎとして迎え、おなけと結婚させようとして迎えたが、おなけは十六歳で病死してしまいました。ここに嘉念坊善俊上人の血筋は途絶えてしまいました。

一六四一年、照蓮寺は宣心の側室として東本願寺十三代宣如上人の娘・佐奈姫を迎えました。当時宣心は十九歳、佐奈姫は九歳でした。

二人の結婚生活は決して平穏なものではありませんでした。宣心は荒々しく、横暴な性格でした。そのため照蓮寺は諍いが絶えず、すさんだ状況になつてしまつていきました。佐奈姫は慣れない飛驒の生活と宣心の粗野な振る舞いに耐えながら三人の子どもを育て、真宗の法灯を守るため教化につとめました。



【佐奈姫のお墓と石臼の参道】

離れて京都で療養することになりました。しかし、一六六七年六月、東本願寺近くの屋敷で三十五年の生涯を終えました。飛驒の人々は佐奈姫の訃報を聞き、そのはかない生涯をいたみ、悲しみにくれました。

現在では毎年六月二十六日、墓所とその近くの松本町公民館にて、佐奈姫忌法要が営まれています。

☎テレホン法話(0577)34(2313) ○6月21日~31日:尾崎淳一氏「真宗同朋会」 ○7月1日~10日:龍池玲奈主事補「教務所」 ○7月11日~20日:長田正三氏「浄樂寺」 宗教トラブル相談窓口(0577)3210763

家族で語ろう

女と男のナムアマミダブツ③

藤場 芳子



ま「まだ一人?」
ほっといてくれ
生き方だ!

私の失敗

私が小学校のPTAの役員をしていた時のことです。行事が終わ

がいても不思議ではない年齢に見えたからです。「人は結婚するのが

昔と今

かつて結婚は「人生のゴールイン」と言われ、特に女性の場合は

退社として喜ばしいこととされてい

ていた時のことです。行事が終わ

「生き方」なのか

そんな背景を反映しているのが

ている絵は、独身生活を表してい

「生き方だ」とばかり言えない

理由も最近では考えられます。例

今回の句は未婚、既婚、男女、

「ご」壇案内

- 6月 28日(土)西方寺「清見町」
- 7月 5日(土)頓乗寺「萩原町」
- 6日(日)光雲寺「萩原町」
- 12日(土)永養寺「萩原町」
- 13日(日)速入寺「石浦町」
- 15日(火)妙覺寺「萩原町」
- 17日(木)久々野教会
- 19日(土)桂林寺「馬瀬」
- 20日(日)慈雲寺「萩原町」
- 21日(月)賢誓寺「萩原町」
- 22日(火)本光坊「下呂森」
- 27日(日)西教寺「朝日町」

「ご」坊文化講座

- 日時 7月24日(木) 午後1時30分から
- 講題 「高山別院所蔵屏風絵について」
- 会場 高山別院
- 講師 庫裡ホール 田中 敏雄氏
- 会費 1回 600円 3回通し 会員1000円 一般1500円



次号の「家族で語ろう」はお休

児童夏のつどい in 賢誓寺 7月29日(火)~30日(水)開催! カレー作り・川遊び・ハイキングなどいろんなイベントが盛りだくさん。飛騨地域のともだちとたのしい夏をすごしてみませんか? 会場 賢誓寺(下呂市萩原町) 参加費 3,000円(食費・保険等含む) 対象 小学校3~6年生 対締 7月4日(金) ※お手次のお寺もしくは高山教務所にお申し込みください。

子ども奉仕団 8月19日(火)~21日(木) 京都の東本願寺に全国から子どもたちが大集合! みんなでおつとめしたり、おそうじをしたり、お話を聞いたり、遊んだりしながら一緒に生活します。会場 東本願寺(京都市) 参加費 10,000円(食費・保険等含む) 対象 小学生4~6年生 対締 7月25日(金) ※お手次のお寺もしくは高山教務所にお申し込みください。

真宗公開講座

- 「清見組」 日時 6月22日(日) 午後7時から
- 会場 ふるさと会館
- 講師 (清見町三日町) 三島 清圓氏
- 参加費 500円
- 「朝日高根組」 日時 6月23日(月) 午後7時から
- 会場 寶蓮寺
- 講師 (朝日町立岩) 馬川 透氏
- 参加費 500円

飛騨御坊ボランティア委員会からのお願い

飛騨御坊ボランティア委員会では、東日本大震災以降、宮城県女川町へ支援活動に出かけています。炊き出しやがれき撤去作業、茶話会交流などを行い、また昨年4月には、震災犠牲者の三回忌法要もお勤めしました。交流を重ねる中で、女川の方々から、今度はぜひ高山に行きたいとの声が出てきました。そこで7月7日(月)から9日(水)まで高山・下呂にお招きすることになりました。つきましては、滞在にかかる費用のカンパにご協力いただきたく、お願い申し上げます。お酒やおつまみのカンパも大歓迎です。よろしく願います。担当 別院 杉野

野菜提供のお願い

福島県二本松市で毎月10日と20日に行われている青空市場に、飛騨からも新鮮な野菜を届けたいと思います。別院でまとめてお送りしますので、ご協力いただける方は高山別院 TEL0577-32-0688までご連絡ください。

